土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

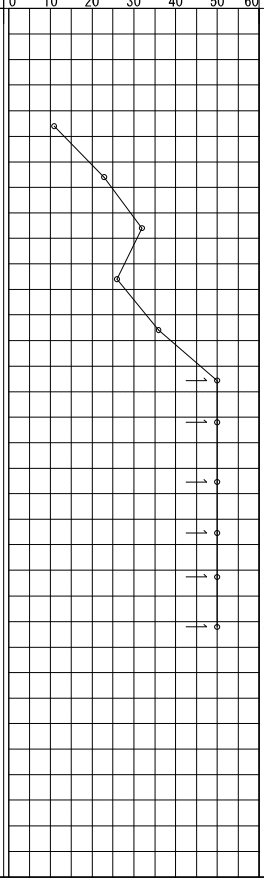
調査名	一般国道　432号 道路改良事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	道路　構造物基礎

ボーリング名	R3-Bor.NO.4	調査位置	広島県竹原市東野町	北緯	34° 22' 32.1925"
発注機関	広島県西部建設事務所　東広島支所	調査期間	令和3年11月29日～ 令和3年12月 2日	東経	132° 53' 04.3072"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 15.59m	角度	180 上 90 下 0° 0°	方向	0°北 270°西 90°東 180°南
総削孔長	12.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機D-1型 / エンジン：ヤンマーディゼルNFD-12 / ポンプ：東邦地下工機BG-2

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事
1				粘土混り砂	S-Cs	暗褐灰	rd3		・盛土層である ・砂は細砂主体である ・礫径2～3mm程度の亜角礫を含む ・所々、L=5cm程度の玉石が採取される
2	13.09	2.50							
3				粘土混り砂質礫	GS-Cs	暗灰	rd3		・これより在来土層である ・砂は中～粗砂主体である ・全体的に礫径2～10mm程度の亜角礫を多数含む ・GL-4.00m付近で、掘削時に漏水を確認した
4					GS-Cs				
5	10.59	5.00		粘土混り礫質砂	SG-Cs	褐灰	rd3		・細～粗砂主体で、礫径2～5mm程度の亜角礫を含む
6	9.59	6.00		粘土混り砂質礫	GS-Cs	暗灰	rd4		・中～粗砂主体で、全体的に礫径2～10mm程度の亜角礫を多数含む
7	8.59	7.00		砂礫		暗褐灰	rd5		・礫径2～100mm程度の亜角礫主体である ・礫は非常に硬質である ・砂は粗砂主体である ・所々、L=10～15cm程度の玉石が棒状コアで採取される ・マトリックスは細粒分を含む砂で、良く締まっている
8									
9									
10	5.59	10.00		砂礫		淡灰			
11									
12	3.59	12.00							
13									
14									
15									
16									
17									

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
11	2.15	3	4	4	11/300		
	2.45						
23	3.15	9	7	7	23/300		
	3.45						
32	4.15	8	12	12	32/300		
	4.45						
26	5.15	10	8	8	26/300		
	5.45						
36	6.15	12	12	12	36/300		
	6.45						
50以上	7.15	14	18	18/60	50/260	260	
	7.41						
50以上	8.00	25	25		50/200	200	
	8.20						
50以上	9.15	25	17	8/40	50/240	240	
	9.39						
50以上	10.15	16	17	17/40	50/240	240	
	10.39						
50以上	11.05	34	16	50	50/150	150	
	11.20						
50以上	12.00	29	17	4/10	50/210	210	
	12.21						

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験 深度(m)	試験名及び結果	削孔月日
2.15	P-1	⊖	物理的	1.00	L L T E=0.379kN/m2	11/29
2.45				2.00		
3.15	P-2	⊖	物理的			
3.45						
4.15	P-3	⊖	物理的			
4.45						11/30
5.15	P-4	⊖	物理的			
5.45						
6.15	P-5	⊖	物理的			
6.45						
7.15	P-6	⊖				
7.41						
8.00	P-7	⊖				
8.20						
9.15	P-8	⊖				
9.39						12/1
10.05	P-9	⊖				
10.29						
11.05	P-10	⊖				
11.20						
12.00	P-11	⊖				12/2
12.21						